



間近で聴くと体の芯まで響きます



見事な「板割り」。
会場は歓声に沸きました

大迫力の演奏 第14回龍響祭2014

11月30日、カルチャーセンターで「第14回龍響祭2014」が開催されました。

10月から11月にかけて行われた、市民総合文化祭の最後を飾るこの催し。聖龍太鼓聖龍一門会で結成した実行委員会が、芸術文化振興のためのチャリティ活動の一環で行っているもので、2000年から開催されています。

この日は、9団体が和太鼓の演奏や演奏に合わせた歌や踊りを披露。

また、空手の演武も披露され、迫力ある和太鼓の音色や演武に多くの来場者が魅了されていました。

第4回遊び・学びの教室

11月29日、関内小学校で第4回遊び・学びの教室「星空観察会」が行われ、109名が参加しました。

この日はあいにくの曇り空。そこで、体育館でこの時期の星空をプロジェクターに映し、講師の久保さんが星の名前や移動する様子などを説明しながら雲が晴れるのを待ちました。

終わり近くにやっと雲の隙間から出てきた月を望遠鏡で見た子どもたちは「何だかぼこぼこしている」と普段見る月とは違う様子に感動していました。



あいにくの天気だけど…分かりやすく説明

一生懸命話してくれる岡田さん



高く、遠くへ跳びたい

伊達中学校2年岡田帆花さんが、昨年度から引き続き北海道陸上競技協会の中学生強化選手候補として選ばれました。

小学校4年生から始めた走幅跳。強化合宿でさらに磨きをかけています。「踏み切り動作など細かいことを丁寧に教えてくれる。短い時間だけどとてもためになる」とのこと。市総合体育館でのトレーニングで体幹を鍛え、細く長い筋肉を作るための努力を惜しみません。次の記録会が楽しみです。

税金ってなんだろう —稀府小学校「租税教室」—

12月10日、稀府小学校で6年生13名を対象にした租税教室が開催されました。

この教室は、税務署や市の職員が講師になり、税金に関する知識を身に付けてもらうために、市内の小中学生を対象に行っているものです。

児童にも分かりやすいよう、クイズ形式やDVDを使って授業が進められ、児童ひとり一人が、税金がなくなると普通の生活にどのような影響が出るのか、税金の必要性について理解を深めていました。



児童たちも積極的に参加し、活発な授業が行われました

保健師の質問に手をあげて答える参加者たち



健康な体を目指して —宅配講座「生活習慣病を予防しよう」—

12月8日、有珠地区コミュニティセンター白鳥館で「生活習慣病の予防」をテーマにした市の宅配講座が開催され、14名が参加しました。

市の保健師から「血糖値を下げるためにはバランスの良い食事をとることが重要。野菜から食べることを心がけ、良く噛んでゆっくり食べることも血糖値の上昇を抑えられる。食後に30分～1時間程度の有酸素運動を行うことも効果的」との説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



苦~い!でも、これが大人の味!?

12月6日、なないろ児童館で「お茶会」が行われ、16名の子どもたちが参加しました。

同館では、昨年4月に開館してから、毎週土曜日の「かたつむりタイム」にさまざまな体験や催しなどを行っていますが、今回はボランティアの菊地さんの指導のもと、その場で点てた薄茶をいただきました。

行儀よく正座して待つ子どもたちに順番に薄茶が回りますが、苦くて飲むのに時間がかかったり、飲んだ後に苦さが口に残って水を飲みに来る子も。ほとんどの子どもたちにとって初めての体験だったようですが、日本の文化を楽しむいい機会だったようです。



頑張っって飲むよ

緑色が鮮やかな薄茶